

資料

部落史関係文献目録

(2007年4月～2008年3月)

1. 本目録は、概ね2007年4月から2008年3月までの間に発表された部落史関係の著作・論文、それ以前に発表されながら昨年までの目録に収録できなかった文献をも収録した。
2. 全体を(1)単行本、(2)逐次刊行物、(3)部落問題・人権関係逐次刊行物に分類し、(1)は編著者の、(2)と(3)は逐次刊行物の50音順に配列した。アイウエオ順の見出しは立てていない。
3. 本目録は、部落解放・人権研究所が収集した文献データに、京都部落問題資料センターの収集データを加え、さらに廣岡浄進氏・藤原豊氏の補充調査によって充実を図った。
4. 紙幅の制約から、書評、研究会等の報告要旨、ニューズレター等の短文記事、および単著の目次情報は収録していない。2008年4月以降のデータを含め、本目録に収録できなかった文献については、研究所ウェブサイトの文献データベースで検索できる (http://web-db.blhrrri.org/navi/index_ronbun.htm)。

(1) 単行本

『企画展「堺の町の被差別民」絵図にみる被差別民 その2』舩松人権歴史館、2007/05

『企画展「舩松村と塩穴村」絵図にみる被差別民 その3』舩松人権歴史館、2007/11

『崇仁小学校の宝物2～魂のバトンタッチ<柳原銀行記念資料館第19回特別展>』京都市人権文化推進課、2007/07

『先住民と差別 喜田貞吉歴史民俗学傑作選』河出書房新社、2008/01

『平安京図会』京都市生涯学習振興財団、2005/05

『南山城の光芒 上 新聞『山城』の25年』宇治山宣会、2007/05

『歴史の中の聖地・悪所・被差別民 謎と真相(別冊歴史読本80)』新人物往来社、2007/09

安保則夫著／ひょうご部落解放・人権研究所編『近代日本の社会的差別形成史の研究増補 ミナト神戸 コレラ・ベスト・スラム』明石書店、2007/06

和泉市立人権文化センター編刊『和泉の人

造真珠産業』和泉市立人権文化センター、2007/03

・野崎明美「和泉ガラス史はじまり記 明治期の堺ガラス伝播について」

伊藤唯真編『日本仏教の形成と展開』法蔵館、2002/10

・児玉識「真宗者による初期部落差別撤廃運動とその限界 山口県の場合」

・野地秀俊「中世における寺社参詣と「穢」」宇野日出生『八瀬童子 歴史と文化』思文閣出版、2007/04

大阪人権博物館編『博物館の展示表象 差別・異文化・地域』大阪人権博物館、2007/03

大阪人権博物館編刊『部落差別の現在 特別展展示図録』、2007/04

大阪人権博物館編刊『万歳 まことにめでとう そうらいける』、2007/08

大阪人権博物館編『寺本知文庫目録』大阪人権博物館、2000/03

大阪の部落史委員会編『大阪の部落史 第9巻 史料編 補遺』部落解放・人権研究所、2008/03

- 沖浦和光編著『佐渡の風土と被差別民 歴史・芸能・信仰・金銀山を辿る』現代書館、2007/10
- 沖浦和光『天皇の国・賤民の国 両極のタブー』河出書房新社、2007/08
- 沖浦和光『旅芸人のいた風景 遍歴・流浪・渡世』文藝春秋、2007/08
- 勝田至『日本中世の墓と葬送』吉川弘文館、2006/04
- 加藤昌彦『水平社宣言起草者西光万吉の戦後 非暴力政策を掲げつつけて』明石書店、2007/05
- 「神奈川の部落史」編集委員会編（藤野豊編集代表）『神奈川の部落史』不二出版、2007/08
- 狩野博幸・山路興造・藤井健三解説『近世祭礼・月次風俗絵巻』東方出版、2005/12
- 河内将芳『祇園祭と戦国京都』角川学芸出版、2007/06
- 北崎豊二編著『明治維新と被差別民』部落解放・人権研究所、2007/08
- （北崎豊二編著『明治維新と被差別民』）
- 秋定嘉和「幕末維新期の博労・かわたの博労・かわたの変遷についてのノート」
- 井岡康時「大和国における辛未戸籍の編成について」
- 上杉聰「近世近代部落史の連続面について 部落の「異民族起源説」と用語「特殊部落」発生の再検討」
- 北崎豊二「非人番制度の解体 摂河国を中心に」
- 里上龍平「文明開化と被差別部落 差別の継続と意識の変容」
- 高木伸夫「近世・近代移行期における兵庫津の諸賤民」
- 本郷浩二「明治初年の斃牛馬処理と屠畜業をめぐる動向 兵庫県下の事例から」
- 森田康夫「維新変革期の被差別民における職業観の形成 「かわた」・髪結・三味聖との対比から」
- 吉田栄治郎「畿内周辺における夙の賤視解除運動」
- 吉村智博「部落分村運動試論 維新変革期の近江国の分析」
- 京都部落問題研究資料センター編刊『京都の被差別部落と教育 2006年度部落史連続講座講演録』2007/03
- ・辻ミチ子「京都の番組小学校と女紅場」
 - ・中島智枝子「協同夜学校と竹中庄右衛門」
 - ・白石正明「田中親友夜学校と上田静一」
 - ・伊藤悦子「児童融和教育の模索と井手小学校の実践 1928年から1939年文相訓令まで」
 - ・杉本弘幸「戦前期京都の母子福祉と教育 京都市児童院を中心に」
 - ・秋定嘉和「戦時下京都の被差別地区と救貧・風俗」
- 久保井規夫『図説 食肉・狩猟の文化史 殺生禁断から命を生かす文化へ』柘植書房新社、2007/03
- 黒川みどり編『〈眼差される者〉の近代 部落民・都市下層・ハンセン病・エスニシティ』部落解放・人権研究所、2007/10
- （黒川みどり編著『〈眼差される者〉の近代』）
- 黒川みどり「映画「人間みな兄弟 部落差別の記録」にみる部落問題の表象」
- 関口寛「初期水平運動と部落民アイデンティティ」
- 廣岡進浄「アジア太平洋戦争下の被差別部落における皇民化運動 同和奉公会についての点描」
- 吉村智博「「釜ヶ崎」形成史論」
- 礪川全次編『穢れと差別の民俗学』批評社、2007/11
- 佐久市教育委員会編刊『矢島村古文書目録 第2集』佐久市教育委員会、2007/03
- 佐久市五郎兵衛記念館編『佐久市五郎兵衛記念館古文書調査報告書 第1集』佐久市教育委員会、2008/03

桜井厚編著『戦後世相の経験史』せりか書房、2006/05
・桜井厚「移動経験と被差別アイデンティティの変容 都市皮革業者の生活史」
塩見鮮一郎『吉原という異界』現代書館、2008/02
関根康正・新谷尚紀『排除する社会・受容する社会 現代ケガレ論』吉川弘文館、2007/05
シンポジウム記録編集委員会編『部落史観は転換したか 現在と未来を問う』下之庄歴史研究会、2007/08
・上野茂「部落史認識の再構築に向けて」
・上野茂／竹森健二郎／斎藤洋一／吉田智弥（司会）「下之庄歴史研究会設立30年記念シンポジウム 部落史観は転換したか 現在と未来を問う」
・斎藤洋一「信濃国の近世部落史研究の成果と課題」
・竹森健二郎「部落史観は転換したか 現在と未来を問う」
世界人権問題研究センター編『講座・人権ゆかりの地をたずねて』世界人権問題研究センター、2007/10
・秋定嘉和「衣・食・住からみた戦後の京都市民の生活」
・河内将芳「戦国時代の祇園祭と神人 駕輿丁と今宮神人」
・福田雅子「近代化のシンボル女紅場 鴨川西岸からの女子教育」
・山路興造「鴨河原と芸能者たち」
高埜利彦編『朝廷をとりまく人びと 身分的周縁と近世社会 8』吉川弘文館、2007/07
高山文彦『エレクトラ』文藝春秋、2007/11
中世後期研究会編『室町・戦国期研究を読みなおす』思文閣出版、2007/10
・三枝暁子「2 社会史を読みなおす 中世後期の身分制論」
寺田培編著『寺田治兵衛正熙とその後裔』

寺田培、1990/07
寺田培『積善之家又有餘慶』寺田培、1998/03
寺田培編著『寺田治兵衛 資料抄』寺田培、2007/03
鳥飼慶陽『賀川豊彦の贈りもの いのち輝いて』創言社、2007/04
奈良県立同和問題関係史料センター『大和国葛上郡関係史料 奈良県同和問題関係史料第12集』奈良県教育委員会、2007/03
奈良本まゆみ・河野益近編『奈良本辰也著作目録』臨風舎、2007/03
奈良本辰也『序文・跋文で読む奈良本辰也全著書』臨風舎、2007/03
成田龍一『大正デモクラシー シリーズ日本近現代史4』岩波書店、2007/04
・「第3章 米騒動・政党政治・改造の運動」
西岡智『荆冠の志操 西岡智が語る部落解放運動私記』柘植書房新社、2007/11
西海賢二『江戸の漂泊聖たち』吉川弘文館、2007/06
西山卯三記念すまい・まちづくり文庫編『昭和の日本のすまい 西山卯三写真アーカイブズから』創元社、2007/08
のびしょうじ『被差別民たちの大阪 近世前期編』部落解放・人権研究所／解放出版社、2007/06
登尾明彦『それは、湊川から始まった』みずのわ出版、2004/01
・山田邦和「中世京都の被差別民空間—清水坂と烏部野」
原直史編『商いがむすぶ人びと 身分的周縁と近世社会3』吉川弘文館、2007/06
東日本部落解放研究所編『群馬県被差別部落史料 小頭三郎右衛門家文書』岩田書院、2007/11
ひょうご部落解放・人権研究所編『人権歴史マップ 丹波版』2007/07
平林章仁『神々と肉食の古代史』吉川弘文

- 館、2007/06
- 廣岡裕沙『大島山明西寺史』明西寺、2007/06
- 福岡県人権研究所羽音豊調査研究プロジェクト編『にんげん・羽音豊 鉅害闘争と部落解放運動』福岡県人権研究所、2007/04
- 福岡町資料作成委員会編刊『福島の歴史 したたかに生き抜いた先輩たちの記録』2003/12
- 部落解放同盟香川県連合会結成五十周年記念誌編集委員会編『自立・解放への道(軌跡) 結成五十年と本多義信の生涯』部落解放同盟香川県連合会、2007/10
- 舩松人権歴史館編刊『舩松人権歴史館 総合展示図録』2007/12
- 松下志朗『幕藩体制下の被差別部落 肥前唐津藩を中心に』明石書店、2008/01
- 宮崎学『近代ヤクザ肯定論 山口組の90年』筑摩書房、2007/06
- 宮武利正『「破戒」百年物語』解放出版社、2007/11
- 明治維新史学会編『明治維新と歴史意識』吉川弘文館、2005/04
- ・吉田栄治郎「幕末～明治初年の夙の動向 土師部由緒をめぐって」
- 山田慎也『現代日本の死と葬儀 葬祭業の展開と死生観の変容』東京大学出版会、2007/09
- 山本一生『恋と伯爵と大正デモクラシー 有馬頼寧日記1919』日本経済新聞出版社、2007/08
- 横井清『中世民衆の生活文化』上・中、講談社、2007/11、/12
- 横田冬彦編『知識と学問をになう人びと 身分的周縁と近世社会5』吉川弘文館、2007/04
- 吉田永宏『日本近代文学と思想性』関西大学出版部、2007/03
- ・「6 近代文学と人権問題」
- 吉田伸之編『身分的周縁と近世社会6 寺社をささえる人びと』吉川弘文館、2007/05
- 吉村和真・田中聡・表智之『差別と向き合うマンガたち』臨川書店、2007/07
- 米沢市上杉博物館編『国宝 上杉本洛中洛外図屏風 [図録] 改訂再版』2007/02
- 脇田修／脇田晴子『物語 京都の歴史』中央公論新社、2008/01

(2) 逐次刊行物

〈ア〉

- 『愛知学院大学論叢 教養部紀要』155、愛知学院大学教養教育研究会、2007/08
- ・松浦國弘「簡易食堂と部落問題 名古屋市の場合」
- 『新しい歴史学のために』264、京都民科歴史部会刊、2007/04
- ・杉本弘幸「1920-30年代の都市社会事業運営と市政—京都市児童院をめぐる「格差」と都市社会」

〈オ〉

- 『鷹陵史学』33、鷹陵史学会、2007/09
- ・高野昭雄「戦前期京都市における不良住宅密集地区」

- 『大阪大谷国文』37、大阪大谷大学日本語日本文学会/大阪大谷大学、2007/03
- ・小林健二「近世芸能における鈴木三郎異伝の展開 能・狂言、山伏神楽・番楽」
- 『大阪商業大学商業史博物館紀要』8、大阪商業大学商業史博物館、2007/10
- ・木下光生「近世河内の真宗惣道場・看坊・門徒と自庵化運動 河内国丹北郡若林村立法寺を事例に」
- 『大原社会問題研究所雑誌』591、法政大学大原社会問題研究所、2008/02
- ・杉本弘幸「戦前期都市社会調査における調査活動と社会事業行政職員 京都市社会課調査を事例に」

〈カ〉

『関西大学博物館紀要』13、関西大学、2007/03

- ・荒武賢一朗「津田秀夫文庫文書目録6 播磨国赤穂郡若狹野・浅野隼人家関係文書」

〈ク〉

『熊野』通号132・133、紀南文化財研究会、2007/12

- ・藤井寿一「林信章『熊野詣紀行』(抄)」

〈ケ〉

『芸能史研究』179、芸能史研究会、2007/10

- ・中野洋平「信濃における神事舞太夫・梓神子集団の歴史的展開」

『研究紀要』19、京都女子大学宗教・文化研究所、2006/03

- ・高野昭雄「戦前期京都市における下層社会の変化」

『研究紀要』20、京都女子大学宗教・文化研究所、2007/03

- ・高野昭雄「戦前期京都市における市域拡張と都市下層」

- ・楨村久子「墓地や葬送の変化と人口10万以上都市の公営墓地・火葬場等に関する動向—「墓地・火葬場に関する動向調査」から」

『研究報告』3、奈良県大学人権教育研究協議会、2007/05

- ・三輪嘉男「人権と資源リサイクル、住環境からみた地域・住民・行政の推移と課題—奈良、神戸を中心に」

『現代の理論』11〈特集／異議申し立て—いま部落解放運動を問う〉言論NPO・現代の理論、2007/春

- ・組坂繁之「『不祥事』を克服して全体の人権の底上げへ」

- ・藤田敬一「『同和はこわい考』の20年を振り返って」

- ・八木晃介「部落解放運動とは何であったのか」

- ・吉田智弥「歴史的決算としての同和不祥事」

〈コ〉

『コア・エシックス』4、立命館大学大学院先端総合学術研究科、2008/03

- ・山本崇記「差別論の現代史—社会運動との関係性から考える—」

『国文学 解釈と鑑賞』72(10)〈特集／唱導文化の展望〉、至文堂、2007/10

- ・小田真裕「幕末奈良陰陽師の活動」

- ・澤博勝「真宗信仰と唱導」

- ・山田慎也「近代葬祭業と唱導文化の変貌」

〈シ〉

『史学研究』257、広島史学研究会、2007/07

- ・有元正雄「近世における「えた」存在の地帯性」

『時衆文化』14、時衆文化研究会、2006/10

- ・金井清光「御影堂本『一遍聖絵』巻七、市屋道場の癡者と小童」

- ・古賀克彦「妙法院翻刻史料に見る近世時宗教団 円山安養寺を中心に」

- ・砂川博「『一遍聖絵』巻二の詞と絵」

『時衆文化』15、2007/04

- ・古賀克彦「近世公家日記に見る時衆 翻刻史料を中心として」

- ・砂川博「『一遍聖絵』巻三の詞と絵(上)」

『時衆文化』16、2007/10

- ・金井清光「初期時衆史の問題四つ」

- ・古賀克彦「『お湯殿の上の日記』に見る時衆」

- ・砂川博「『一遍聖絵』巻三の詞と絵(下)」

『社会科学』79、同志社大学人文科学研究科、2007/10

- ・小林文広「近代京都の町式目をめぐって 天神山町の場合」

『社会福祉研究所報』35、熊本学園大学付属社会福祉研究所、2007/03

- ・山本尚友「古代律令制下の福祉制度とその変容 賑給から施行へ」

- 『種智院大学研究紀要』 8、種智院大学、2007/03
- ・左右田昌幸「近世本願寺教団における末寺数の変遷について」
- 『女性学研究』 通号14、大阪府立大学女性学研究センター、2007/3
- ・塩谷幸子「2006年度第1回コロキウム 部落問題と女性労働について」
- 『史論』 60、東京女子大学、2007
- ・高田陽介「時宗寺院の火葬場と三昧聖 中近世京都の二つの史料から」
- 『真宗教学研究』 28、真宗教学学会、2007/06
- ・兄玉識「講演／近世真宗の社会的実践 僧叡（石泉）学派を中心に（真宗における仏事）」
- 『真宗研究会紀要』 39、龍谷大学大学院真宗研究会、2007/03
- ・兄玉識「講演／近世真宗のエートスを考える 真宗学と真宗史学の対話を求めて」
- 〈チ〉
- 『ちくま』 435～442、筑摩書房、2007/06～2008/01
- ・沖浦和光「青春の光芒 異才・高橋貞樹の生涯」(1)～(8)
- 〈ト〉
- 『同志社法學』 59(2)、同志社法学会／同志社大学、2007/07
- ・田中和男「大原社会問題研究所の設立と米田庄太郎」
- 〈ニ〉
- 『日本史研究』 536、日本史研究会、2007/04
- ・三枝暁子「中世非人の「職能」をめぐって」
- 『日本史研究』 540〈特集／14世紀史の可能性〉2007/08
- ・大山喬平「多様性としての列島14世紀 網野学説をめぐって」
- 『日本史研究』 541、2007/09
- ・杉本弘幸「1950年代「京都」における失業対策事業・女性失対労働者・被差別部落 戦後都市社会政策とマイノリティをめぐって」
- 『日本民俗学』 252〈特集／差別と民俗〉日本民俗学会、2007/11
- ・乾武俊「民俗学は差別をとらえるのか」
 - ・岩田重則「民俗学と差別 柳田民俗学の形成および「常民」概念をめぐって」
 - ・桜井厚「被差別の伝承から経験的語りへ 被差別部落のライフストーリー研究から」
 - ・政岡伸洋「差別と人権の民俗学 部落問題をめぐる議論を中心に」
 - ・宮本袈装雄「被差別部落の民俗と民俗調査」
 - ・村上紀夫「博物館展示と差別問題」
 - ・門馬幸夫「歓待と忌避あるいは文化と社会における互酬性—儀礼的身分と社会的身分への素描」
 - ・山本義孝「遺跡の中にあられた社会的格差」
- 『日本歴史』 710、吉川弘文館、2007/07
- ・和田幸司「本願寺番衆尊宝寺の政治史的考察」
- 『日本歴史』 718、2008/03
- ・亀田剛広「品部・雑戸制と官員令別記」
- 〈ネ〉
- 『年報都市史研究』 15、山川出版社、2007/12
- ・遠藤藤「後北条領国における宿と身分」
- 〈ヒ〉
- 『皮革科学』 53(1)、日本皮革技術協会、2007/04
- ・平田剛士「エゾシカの姫路白糍し革」
- 『皮革科学』 53(3)、2007/10
- ・竹之内一昭「20世紀初期の外国文献に紹介された日本の皮革事情」
 - ・田中陽子「正倉院の革履の縫製技法」
- 『比較社会文化』 13、図書紀要委員会編／九州大学大学院比較社会文化学府、2007

- ・高野信治「近世大名の農政展開と社会差別 小笠原小倉藩を素材に」『東アジア研究』5、山口大学大学院東アジア研究科、2007/03
- ・作田誠一郎「戦前期（昭和）における「少年工」の不良化問題の一考察」『ヒストリア』206、2007/09
- ・片岡耕平「永長の大田楽の動向—日本中世天皇の権威についての一考察」〈フ〉『佛教学部教育学部学会紀要』5、佛教学部教育学部学会、2006
- ・後藤直「京都市内の同和地区における住環境改善事業50年の取組と今日的状況」『佛教学部総合研究所紀要』15、佛教学部総合研究所、2008/03
- ・西本良子・村岡潔「仏教と福祉 明治・大正期大阪における慈善事業の信仰的展開」〈ホ〉『法政論叢』44（1）、日本法政学会／日本法政学会、2007/11
- ・和田幸司「明治期鹿児島県における真宗移転寺院の政治史的考察 京都府下京区廣泉寺の移転を事例として」『本願寺史料研究所報』33、本願寺史料研究所、2007/09
- ・左右田昌幸「花山火葬場について（増補）」
- ・左右田昌幸「『ほうらい（蓬萊・宝来）』考」補足」
- ・左右田昌幸「宝来の由緒書について」〈マ〉『待兼山論叢』40、大阪大学文学会、2006/12
- ・廣岡浄進「主体化と動員の陣地戦—植民地帝国日本の人種主義と総力戦体制下の部落解放運動を考えるために」『まつり』通号69、まつり同好会、2007/Win.
- ・山路興造「三信遠の民俗芸能—その研究視点」

- 〈ミ〉『御影史学論集』32、御影史学研究会、2007/12
- ・酒向伸行「陰陽師と鬼—吉備の陰陽師を中心に」
- ・永瀬康博「正倉院の鞍褥と熏」『民衆史研究』73（特集／近世社会における民衆と「死」—死生観と墓標をめぐって）民衆史研究会、2007/06
- ・木下光生「近世畿内近国民衆の葬送文化と死生観」〈ヤ〉『山形県立米沢女子短期大学紀要』43、山形県立米沢女子短期大学、2008/01
- ・蘭部寿樹「村落内身分の地域類型と讃岐国詫間荘」〈ヨ〉『寄せ場』20、日本寄せ場学会、2007/05
- ・原口剛「戦後釜ヶ崎の形成史を問い直す 港湾労働との連関から」〈リ〉『立教大学日本文学』98、立教大学、2007/07
- ・金子明雄「『破戒』 輻輳する物語の残像 島崎藤村の小説表現」『立命館経済学』328、立命館大学経済学会、2007/07
- ・畑中敏之「身分引上と醜名除去—「弾内記身分引上一件」の再検討」『立命館言語文化研究』90、立命館大学国際言語文化研究所、2007/11
- ・原口剛「寄場 流動的下層労働者の抵抗史」
- ・山本崇記「都市下層における反差別のかたち 日雇労働者のなかの「部落」と「在日」」『立命館文学』602、立命館大学人文学会、2007/11
- ・河内将芳「南都祇園会に関する二、三の問題」〈レ〉

- 『歴史学研究』828、青木書店、2007/06
- ・石居人也「明治初年の〈衛生〉言説 火葬禁止論争をめぐる」
- 『歴史学研究』837、2008/02
- ・松下孝昭「都市社会事業の成立と地域社会—1920年代前半の京都市の場合」
- 『歴史と神戸』261〈特集／近世都市・兵

- 庫津）神戸史学会、2007/04
- ・河野未央「近世兵庫津の町役人・惣代の職務について」
- 『歴史と神戸』266、2008/02
- ・浅井七恵「米騒動における新聞社焼打ちに関する考察」

(3) 部落問題・人権関係逐次刊行物

〈ア〉

- 『明日を拓く』69・70、東日本部落解放研究所、2007/03
- ・藤沢靖介「神社と被差別部落の関係を考える」
- 『明日を拓く』71、2007/12
- ・松浦利貞「群馬県被差別部落史料 小頭三郎右衛門家文書の刊行について」

〈オ〉

- 『大阪人権博物館紀要』10、大阪人権博物館、2008/03
- ・小島伸豊「戦後同和行政の検証 上—「同和对策事業特別措置法」の成立まで—」
 - ・太田恭治「万歳師嘉四郎の近世」
 - ・大藪岳史「北海道移住と上田静一」
- 『大阪の部落史通信』41、大阪の部落史委員会、2007/12
- ・八箇亮仁「森清五郎と中江兆民」

〈カ〉

- 『解放教育』474～478、明治図書出版、2007/05～/09
- ・吉田豊「時々の楔 福地幸造・部落解放教育の思想1～6」
- 『解放教育』479、2007/10
- ・福地幸造・著作目録作成委員会「福地幸造・著作目録（1947～1999）」
- 『解放共闘大阪』801、部落解放大阪府民共闘会議、2007/12
- ・北口末広「部落解放運動の成果を忘れていないか（下）日本社会に多大な影響を与えてきた歴史」
- 『解放研究』20、東日本部落解放研究所、

2007/03

- ・坂井康人「東日本における中世被差別民「非人」「薦長」「庭掃」
 - ・石瀧豊美「紹介／浅草の部落を舞台にした小説「穢多町の娘」
 - ・鳥山洋「相州小田原の長吏小頭太郎左衛門について」
 - ・藤沢靖介「「賤民」に関する明和・安永初年の幕府法令の一考察」
 - ・藤沢靖介「史料紹介／『明治前期大審院民事判決録』から その4 入会権に関する近畿の二件」
- 『解放研究しが』17、反差別国際連帯解放研究所しが、2007/05
- ・岸衛「若者たちの新たな動き—自由でこだわりのない「受容」—」
 - ・桜井厚「「部落」の語りがたさ／聞きがたさ—マイノリティ・インタビューの困難性—」
 - ・三浦耕吉郎「部落と知ること／教えること」
 - ・山本哲司「青年サークルの目指すもの—部落内外の若者による子ども会活動とその特色」
- 『解放研究とっとり』10、鳥取県部落解放研究所、2008/02
- ・宇田川宏「史料紹介／藩政資料「御目付日記」にみる部落とその周辺（1）」
 - ・山本寛「郷土の同和教育史（2）融和教育（戦前の同和教育）の部」
 - ・新井宏則「鳥取県人権救済条例と歴史認識 部落史研究の視点から」

- ・鳥取県部落解放研究所「三明寺の歴史を探ねて」
- ・國歳眞臣「舞鶴市新興部落の形成と解放への主体の形成（2）鳥取県移住者の子孫からの聴き取りを中心に」『解放新聞』523～529、岡山解放新聞社、2007/04～/07
- ・林力「講演／「ハンセン病」父と私のこと 1～7」『解放新聞』2313、2007/04
- ・音谷健郎「解放の文学12 大西巨人と『神聖喜劇』軍隊で廉恥の思想を貫く」『解放新聞』2322、2007/06
- ・音谷健郎「解放の文学14 大逆事件の鋭利な弁護 平出修と『逆徒』」
- ・編集部「原点を描く『にんげん 羽音豊』鉅害闘争と部落解放運動」『解放新聞』2347、2007/12
- ・川村善二郎「解放への願いを読みとる」
- ・大高俊一郎「青和会の活動を再評価」
- ・島山洋「鎌倉の被差別民を書く」
- ・編集部「歴史に学び新たな時代を刻む 独自の部落史を発刊『神奈川の部落史』」『解放新聞』2351、2008/01
- ・中尾健次＝文／橋本要＝写真「消滅した天満垣外のふるさを訪ねて」『解放新聞』2356、2008/02
- ・音谷健郎「解放の文学22 山の民の誇りを明示 トパスと『最後の獵人』」『解放新聞改進黨』359～365、367、369～371、2007/04～2008/03
- ・「改進黨地区の歴史10～20」『解放新聞改進黨』360、2007/05
- ・「ルポ／現業労働 元京都市交通局職員Fさんの軌跡」『解放新聞改進黨』364～366、2007/09～/11
- ・松田扶邇子「唄い継ぐところ～私の中の「竹田の子守唄」1～1下」『解放新聞改進黨』369～371、2008/01～/03
- ・楳村君江「唄い継ぐところ～私の中の「竹田の子守唄」2 上～2 下」『解放新聞京都市版』188、部落解放同盟京都市協議会、2007/06
- ・「「じょうん」設立から15年とまちづくりの進展」『解放新聞京都版』760～763、解放新聞社京都支局、2007/07～/08
- 『解放新聞埼玉』775～779、部落解放同盟埼玉県連合会、2007/06～/08
- ・藤野豊「部落問題から見た差別の連鎖（1）～（5）」『解放新聞東京版』683・684〈特集／江戸の庶民文化と生活の中の被差別民〉、解放新聞社東京支局、2008/01
- ・浦本晉至史「浮世絵に描かれた被差別民」『解放新聞長野版』379～380、解放新聞社長野支局、2007/04～/05
- ・中山英一「差別とのたたかい（36）～（37）」『解放新聞山口県版』19、解放新聞社山口支局、2007/11
- ・岩田利平「山口の部落を歩く「萩」編 最年長の活動家 岩田利平さん」『解放新聞山口県版』21、2008/01
- ・編集部「山口の部落史（戦前編）」『解放新聞山口県版』23、2008/03
- ・布引敏雄「講演／戦前・部落青年の苦悩 松木淳・桂哲雄」『語る・かたる・トーク』146～157、横浜国際人権センター、2007/04～2008/03
- ・斎藤洋一「信州の近世部落の人びと23～34」
- ・田村正男「同和問題再考76～87」
- ・林力「わたしと部落とハンセン病19～30」『かわとはさきもの』140～143、東京都立皮革技術センター台東支所、2007/06～2008/03
- ・稲川實「靴の歴史散歩85～88」
- ・出口公長「正倉院と皮革5～8」『関西大学人権問題研究室紀要』54～55、

- 関西大学人権問題研究室、2007/07～/12
- ・吉田永宏「野間宏と部落問題1～2」『関西大学人権問題研究室紀要』55、関西大学人権問題研究室、2007/12
 - ・宮橋國臣「水平社創立者の精神現象論—西光万吉の精神世界」〈キ〉『KIZUNA』兵庫県／兵庫県人権啓発協会、2007/08
 - ・福田雅子「「水平社」創立の原点を想う 私の取材ノートから」『季節よめぐれ』231、京都解放教育研究会、2007/06
 - ・吉田栄治郎「部落史研究から展望する人権教育における部落史学習」『季節よめぐれ』235、2008/04
 - ・秋定嘉和「近代と被差別部落」『教育実践研究』2、大阪教育大学教職教育研究開発センター、2008/03
 - ・中西宏次「被差別部落と小学校—京都・東三条を中心に」『教化研究』139・140、真宗大谷派、2007/06
 - ・「特集／資料・真宗と国家 5下 1940～1941〈日中戦争期・後篇〉」『京都部落問題研究資料センター通信』7、京都部落問題研究資料センター、2007/04
 - ・白石正明「京都府・市における教育の機会均等への施策について（2）」『京都部落問題研究資料センター通信』8、2007/07
 - ・村上紀夫「部落史連続講座 京都の被差別部落と仕事（1）」
 - ・辻ミチ子「部落史連続講座 京都の被差別部落と仕事（2）」
 - ・白石正明「京都府・市における教育の機会均等への施策について（3）」『京都部落問題研究資料センター通信』9、2007/10
 - ・湯浅孝子「報告／部落史連続講座 京都の被差別部落と仕事（3） 職業規制から見た京都の町（小林文広）」
 - ・藤岡晴美「わが回想—差別とは」『京都部落問題研究資料センター通信』10、2008/01
 - ・河内将芳「サントリー美術館蔵『日吉山王祇園祭礼図屏風』にみえる犬神人について」
 - ・白石正明「京都府・市における教育の機会均等への施策について4」〈ケ〉『月刊滋賀の部落』404、滋賀県同和問題研究所、2007/04
 - ・滋賀県同和問題研究所部落史研究部会「大正期の県内部落の実態と改善事業について」『月刊滋賀の部落』404～410、412～417、2007/04～2008/03
 - ・鈴木俊亮「水平社運動の戦士、元部落解放同盟 滋賀県連副委員長 朝野温知13～最終回」『月刊滋賀の部落』410、2007/10
 - ・山田稔「明治21年・新町村造成に際しての各町村・郡の旧穢多村への対応について」
 - ・島田耕「映画館のしまる日—同和問題研究所によせて」『月刊滋賀の部落』412、2007/11
 - ・川本治雄「滋賀県同和問題研究所の果たしてきた役割～「月刊・滋賀の部落」等出版活動を中心に」『月刊滋賀の部落』413、2007/12
 - ・東上高志「思い出の人と私の希望」『月刊滋賀の部落』415、2008/02
 - ・「滋賀県同和問題研究所のあゆみ その1」
 - ・「『月刊・滋賀の部落』終刊のお知らせ」『月刊滋賀の部落』416、2008/03
 - ・「滋賀の部落 総目次 1976年4月（創刊号）～2008年3月（417号）」
 - ・「滋賀県同和問題研究所刊行・文献目録」

『月刊滋賀の部落』417、2008/03
 ・佐橋忠男『『滋賀の部落』終刊に寄せて』
 ・山田稔『『滋賀の部落』の終刊にあたって』
 ・鈴木俊亮「連載を終えて」
 ・「滋賀県同和問題研究所のあゆみ2」
 ・「座談会／部落問題の解決のために研究所が果たしてきた役割」
 『月刊スティグマ』132、千葉県人権啓発センター、2007/04
 ・鎌田行平「一連の解放運動不祥事報道を考える」
 『月刊スティグマ』133～136、2007/05～/10
 ・坂井康人「部落史を歩く5～9」
 『研究紀要』13、奈良県立同和問題関係史料センター編／奈良県教育委員会、2007/03
 ・井岡康時「明治初期大和国における非人番制度の改革と戸籍編成」
 ・奥本武裕「部落改善運動の水脈—十五日講・中村諦梁・中尾謙軒・そして大和同志会」
 ・吉田栄治郎「近世夙村の被賤視解除の戦略をめぐって」
 ・山村雅史「『東大寺文書』に記された「坂ノ穢多」—中世大和の河原者に関する考察」
 ・中村泰彦「『水国争闘事件』の再検討」
 『研究紀要』8、兵庫県人権啓発協会、2007/03
 ・大垣輝行「兵庫県姫路地方を中心とする同和問題に係わる戦後の取り組みと差別意識解消に向けた今後の取り組みについての一考察」
 〈コ〉
 『こべる』175、こべる刊行会、2007/10
 ・野町均「読書余話 天皇直訴事件の報道解禁日をめぐって」
 〈サ〉
 『在日朝鮮人史研究』37、緑蔭書房、2007/10

・塚崎昌之「1920年代、大阪における「内鮮融和」時代の開始と内容の再検討—朝鮮人「救済」と内鮮協和会・方面委員」
 『佐賀部落解放研究所紀要』24、佐賀部落解放研究所、2007/03
 ・松下志朗「唐津藩の被差別民衆」
 ・中村久子「史料紹介／『口達録』(その2)」
 『狭山差別裁判』395、部落解放同盟中央本部中央狭山闘争本部、2006/11
 ・「写真で見る狭山事件44年」
 『狭山差別裁判』399～402、2007/03～/06
 ・庭山英雄「狭山事件と野間宏1～4」
 〈シ〉
 『しこく部落史』9、四国部落史研究協議会、2007/07
 ・「シンポジウム／「部落史学習に、いま求められているもの」」
 ・「故吉森勝巳さんを偲んで」
 『下之庄歴史研究会紀要 雑学』33、下之庄歴史研究会、2007/05
 ・高桑健二「中上健次私論ノート18」
 ・上野茂「異能者論6」
 ・朝治武「論点整理 アジア太平洋戦争期の水平運動・融和運動」
 ・土岸喬慶「遠敷と納田終と『陰陽頭安倍泰親朝臣記』フィールドワーク福井報告」
 ・編集部「下之庄歴史研究会30年のあゆみ」
 『人権教育研究』16、花園大学人権教育研究センター、2008/03
 ・吉田智弥「新融和主義の破産—吉田栄治郎「オルタナティブな解放理論構築にむけた問題提起として」(第1回「村落共同体研究会」資料)を読む」
 ・島崎義孝「『乞子詰』の視座」
 『人権啓発資料』、天台宗務庁社会部同和推進課、1999/06
 ・日置恒正「4「部落差別」の歴史について」
 『人権と部落問題』758、部落問題研究所、2007/04
 ・菱崎博「芸文の散歩道／中上健次の『路

- 地』嘶
『人権と部落問題』758～763、765～766、2007/04～/11
- ・杉之原寿一「戦後同和行政の展開と支配政策8～10」
『人権と部落問題』759、2007/05
 - ・桑原律「文芸の散歩道／『蘭学事始』とその改変作品 杉田玄白らの医学研究を底辺で支えた被差別民」
『人権と部落問題』760、2007/06
 - ・川端俊英「文芸の散歩道／戦後の出発と『破戒』の再来」
『人権と部落問題』761、2007/07
 - ・秦重雄「文芸の散歩道／「癩」を患っていた武将—創作に見る大谷刑部の魅力」
 - ・東上高志「岸本裕史さんの仕事」
『人権と部落問題』762、2007/08
 - ・成澤榮壽「文芸の散歩道／図書館における『破戒』のミステリー」
 - ・鈴木良「さようなら、門脇禎二先生」
『人権と部落問題』763、2007/09
 - ・小原亨「文芸の散歩道／近世文芸に著された女非人—『耳囊』より」
『人権と部落問題』766、2007/11
 - ・渡辺巳三郎「文芸の散歩道／土方鐵著『小説 石田波郷』」
『人権と部落問題』767、2007/12
 - ・桑原律「文芸の散歩道／小林綾著『部落の女医』—同和对策事業直前の部落の生活像を人情豊かに綴った記録」
『人権と部落問題』768、2008/01
 - ・石川元也「「解同」裁判40年—到達点と課題—1 連載をはじめににあたって」
 - ・川端俊英「文芸の散歩道／『破戒』起稿時の習作にみる人物像」
 - ・鈴木良「「同和」問題とは何か—「同和行政」終結とかかわって」
『人権と部落問題』769、2008/02
 - ・秦重雄「文芸の散歩道／『尊皇歌人 佐久良東雄』小論—“戦時下の住井すゑ論”の前進のために1」
 - ・石川元也「「解同」裁判40年—到達点と課題—2 矢田事件とそれをめぐる動き、たたかいの原点」
『人権21調査と研究』187～188、190、岡山人権問題研究所、2007/04～/10
 - ・尾川昌法「明治の人権論・ノート21～23」
 - ・左右田昌幸「同朋運動史の窓1」
『振興会通信』86、2007/09
 - ・左右田昌幸「同朋運動史の窓2」
『信州農村開発史研究所報』98・99、信州農村開発史研究所、2007/03
 - ・川向秀武「資料紹介／水平社運動の活動家からみた信濃同仁会」
 - ・瀧澤英夫「塩尻宿の飯盛女」
『信州農村開発史研究所報』100、2007/06
 - ・朝倉米重「地元での『破戒』評価と裏話」
『信州農村開発史研究所報』101、2007/09
 - ・瀧澤英夫「御差合名」
〈セ〉
『世界人権問題研究センター研究紀要』12、世界人権問題研究センター、2007/03
 - ・家塚智子「東山殿足利義政と被差別民—東山殿造営を中心に」
 - ・白木正俊「菱野貞次と京都市政 1929～1933年 上」
 - ・木下光生「近世近代移行期における畿内三昧聖の実態」
〈チ〉
『地域と人権』1051～1059、1061、1062、全国地域人権運動総連合、2007/04～2008/03
 - ・丹波正史「「縦の木は残った」半生の記 10～20（最終回）」
〈テ〉
『であい』544、オフィスプロシード、2007/07
 - ・山下太吉「人権のまちをゆく37 隠れ念仏の里と萬次郎翁」
『であい』548、2007/11

- ・編集部「人権のまちをゆく40 和歌山
一向一揆とまちづくり運動」
〈ト〉
『同和教育論究』27、同和教育振興会、
200612
- ・左右田昌幸「近世真宗差別問題史料3
山科御坊・西山御坊土持一件（下）」
- ・藤本信隆「『三浦参玄洞論説集』刊行に
よせて（上）」
『同和教育論究』28、2008/03
- ・左右田昌幸「近世真宗差別問題史料4
「穢村永代経願一件」」
- ・小武正教「高津正道の宗教観と僧籍剥奪」
- ・藤本信隆「『三浦参玄洞論説集』刊行に
よせて（下）」
- ・武田達城「部落起源説をなぜ学ぶのか」
〈ナ〉
『なら解放新聞』745、奈良県部落解放同
盟支部連合会、2007/04・5
- ・吉田栄治郎「被差別部落の歴史的諸相を
考える」
- ・藤田敬一「岸上健次さんを悼む」
『奈良人権・部落解放研究所紀要』24、奈
良人権・部落解放研究所、2006/03
- ・内田龍史「部落出身青年のアイデンティ
ティと社会関係 奈良県連青年部調査結
果から」
- ・寺澤亮一「妙覚寺本堂再興が語る世界
「当寺来由再興因縁記」から」
- ・吉田栄治郎「記憶のなかの由緒（1）残
された伝承から」
- ・中村泰彦「下之庄小学設立を伝える文書
『奈良県被差別部落史』史料集第五卷
から」
『奈良人権・部落解放研究所紀要』25、
2007/03
- ・吉田栄治郎「同和行政をめぐる
一九四九・五〇年奈良県議会の質疑」
『奈良人権・部落解放研究所紀要』26、
2007
- ・吉田栄治郎「大和国の被差別民について

- （1）夙の場合」
〈ヒ〉
『ヒューマンライツ』230、部落解放・人
権研究所、2007/05
- ・白井壽光「被差別民たちの「世間」との
折合い方『大阪の部落史』第三巻からみ
えること」
『ヒューマンライツ』235～239、2007/10
～2008/02
- ・中尾健次「『長史文書』の世界1～5」
『ひょうご部落解放』125、ひょうご部落
解放・人権研究所、2007/06
- ・安達五男「再び兵庫の部落史に学ぶ（5）
近世中、後期における部落差別の歴史
氏子と祭り差別問題を中心に」
- ・永瀬康博「友井公一・斎藤洋一往復書簡
を読んで」
『ひょうご部落解放』127〈特集／部落解
放研究第28回兵庫県集會報告書〉、
2007/12
- ・田中秀夫／植村満「西誓寺文書の解説」
- ・永瀬康博「姫路市高木の高田家文書の解
読から見えてくるもの」
- ・領家穰「元部落解放同盟兵庫県連合会委
員長 大西正義さんの死を悼む」
『ひょうご部落解放』128〈特集／第13回
全国部落史研究交流会報告〉、2008/03
- ・安達五男「解放の視点 どうして私のム
ラにお祭りがいいのか教えてほしい」
- ・安達五男「兵庫における部落史関係史料
収集50年の足跡」
- ・小倉英樹「前近代史分科会討論」
- ・兼本雄三／倉橋昌之／高木伸夫／永瀬康博／
藤原豊「播磨国姫路高木村の高田家文書
（金融編）」
- ・竹森健二郎「戦後福岡における部落解放
委員会の活動」
- ・廣岡淨進「近現代史分科会討論」
- ・藤原豊「近世後期の本願寺派部落寺院の
動向について」
- ・渡辺俊雄「戦後部落解放運動史研究の現

- 状と課題」
- ・和田幸司「近世部落寺院本末関係の研究 状況と課題提起」
- 〈フ〉
- 『部落解放』580、581、583、解放出版社、2007/04～/06
- ・平野一郎「部落三百万人の訴え」の出版」上～下
- 『部落解放』580、583～584、586～587、2007/04～/09
- ・ひろたまさき「差別の歴史を考える31～35」
- 『部落解放』586、2007/08
- ・広瀬浩二郎「“見えない”者たちが創った日本史 琵琶法師、イタコ、警女からの問いかけ」
- 『部落解放』587、2007/09
- ・村上紀夫「「万歳」から見えるもの」
- 『部落解放』589～591、595、2007/11～2008/01、/03
- ・藤沢靖介「部落・差別の歴史 そのとらえ直しと論点」1～4
- 『部落解放』590、2007/12
- ・藤田正「東京音楽通信 まことにめでとう そうらいける 各地に残った万歳競演」
- 『部落解放』591、2008/01
- ・川元祥一「部落文化を訪ねて1 関東織物機の心臓・竹箴」
 - ・鈴木信孝「ガンコで原則的だった 福田耕作・部落解放同盟東京都連合会委員長を偲ぶ」
- 『部落解放』593、2008/02
- ・「大西正義・部落解放同盟元中央本部顧問（兵庫県連合会元委員長）を偲ぶ」
- 『部落解放』594（増刊・部落解放研究第41回全国集会報告書）、2008/02
- ・斎藤洋一「信州の被差別部落の歴史 前近代」
 - ・中山英一「島崎藤村『破戒』刊行100年を経て」
- 『部落解放』595、2008/03
- ・駒井忠之「初出!? 英語版全国水平社創立宣言 米田富さんの証言の真偽を追って」
 - ・川元祥一「部落文化を訪ねて2 と場の労働と食肉文化 東京・品川」
- 『部落解放研究』14、広島部落解放研究所、2008/03
- ・伊藤泰郎「朝鮮人の被差別部落への移住過程—広島市の地区を事例として」
 - ・山本真一「1930年代山本政夫の思想—『融和事業研究』論文を中心として」
- 『部落解放研究』175、部落解放・人権研究所、2007/04
- ・本多和明「資料紹介／松本治一郎記念会館旧蔵資料 松本治一郎関係書簡・資料から（1）」
- 『部落解放研究』176、2007/06
- ・本多和明「資料紹介／松本治一郎記念会館旧蔵資料（2）」
 - ・友寄景方「史料紹介／「彈直樹追賞の事情」の公文書について」
- 『部落解放研究』177（特集／「長吏文書」の研究から）、2007/08
- ・小野田一幸「大坂四ヶ所組織と十三組」
 - ・松永友和「大坂非人研究の新たな展開のために 研究史整理と新史料『長吏文書』の紹介」
 - ・本多和明「資料紹介／松本治一郎記念会館旧蔵資料（3）」
 - ・藪田貫「「長吏文書」との出会いと関心」
- 『部落解放研究』178、2007/10
- ・布引敏雄「部落史の窓／長州藩の検断」
 - ・本多和明「資料紹介／松本治一郎記念会館旧蔵資料（4）」
- 『部落解放研究』179、2007/12
- ・本多和明「資料紹介／松本治一郎記念会館旧蔵資料（5）」
- 『部落解放研究』180、2008/02
- ・本多和明「資料紹介／松本治一郎記念会館旧蔵資料（6）」

『部落解放研究くまもと』54、熊本県部落解放研究会、2007/10

- ・山本尚友「史料でよむ部落史」

『部落解放研究くまもと』55、2008/03

- ・羽江忠彦「水俣病と差別 部落差別とかさねつつ」
- ・山本尚友「史料でよむ部落史」

『部落解放・人権入門2008 部落解放』592、解放出版社、2008/01

- ・北崎豊二「課題別講演／明治維新と被差別民 非人と非人番」

『部落解放ひろしま』81、部落解放同盟広島県連合会、2007/07

- ・「特集／仏教界の差別と広島解放運動 共に学びを求めて」

『部落解放ひろしま』82、2008/01

- ・山本真一「研究ノート／融和運動における「国民意識」と「自覚」初期山本政夫の思想」
- ・小武正教「火葬業者に対する「おんぼう（隠亡）」意識 その背景と歴史」

『部落史研究報告集』11、八幡浜部落史研究会、2007/08

- ・水本正人「資料／「幕府法令・小松藩会所日記」意識」
- ・五藤孝人「石神と宿神の考察2」
- ・「神宮通り部落解放のあゆみ（語り手：吉森熱子）」

『部落問題研究』180〈特集／分野別 研究の成果と課題〉、部落問題研究所、2007/04

- ・横山百合子「前近代身分制研究の動向 成果と課題」
- ・広川禎秀「戦後社会運動史研究の方法について」
- ・秦重雄（作品解題）「部落問題文芸作品発掘13／「哀話 漂泊の女絵師」木村毅」
- ・西尾泰広「史料紹介／滋賀県豊田・輯睦会文書2」
- ・石倉康次「戦後日本の社会福祉と部落問題の解決過程との交点をめぐって」

- ・川端俊英「部落問題解決過程における文芸研究の歩み」

『部落問題研究』181〈第44回部落問題研究者全国集会報告〉、2007/06

- ・川端俊英「『破戒』成立の背景と今日的意義—出版百周年に当たって」
- ・後藤雅知「近世の漁業構造と周縁社会」
- ・三枝暁子「中世寺社の公人について」
- ・鈴木良「戦後史のなかの部落問題 戦後日本社会の構造変化との関わりで」
- ・大日方純夫「警察行政と社会運動 相関関係と分析視角」
- ・高埜利彦「私の身分的周縁論」
- ・布川弘「社会的結合関係・部落・自然環境 都市史研究の立場から」
- ・秦重雄「『破戒』と『琵琶歌』・『田舎教師』—その相関性を見る」
- ・広川禎秀「社会運動史研究の課題と方法 布川・大日方・三輪報告へのコメント」
- ・三輪泰史「社会運動の「二重構造」と二重性」

『部落問題研究』182、2007/09

- ・佐々木隆爾「新安保体制下の日米関係を考える 部落問題解決過程の研究によせて」
- ・秦重雄（作品解題）「部落問題文芸作品発掘14／『彼の僧』沖野岩三郎」
- ・塚田孝「拙著『近世大坂の非人と身分的周縁』への2、3の補足 澤博勝氏と森下徹氏の書評に接して」

『部落問題研究』183、2007/12

- ・杉森哲也「史料紹介／近世京都六条村文書について 香川大学附属図書館所蔵『神原文庫』所収史料から」
- ・鈴木良「真宗教団批判の発展」
- ・広川禎秀「北原泰作文書の調査・研究の意義と課題」
- ・西尾泰広「史料紹介／滋賀県豊田・輯睦会文書（3）」

〈ミ〉

- 『水と村の歴史信州農村開発史研究所紀要』22、信州農村開発史研究所、2007/03
- ・住田正「史料紹介／「松本一件」関係史料」
 - ・深井計美「講演記録／個人史から解放運動を顧みる」
 - ・浅科古文書研究会「史料紹介／平井村の新規溜池築造をめぐる争い」
- 〈モ〉
- 『もやい 長崎人権・学』54、長崎人権研究所、2007/10
- ・中尾貫「ひと（6）人間として」
- 〈リ〉
- 『Regional・リージョナル』6、奈良県立同和問題関係史料センター、2007/05
- ・井岡康時「明治中期の被差別部落における寄留差入書をめぐって 人々の移動はどのように行われたか」
 - ・奥本武裕「明治前半期の地方官僚と部落問題 田部密探索（1）」
 - ・吉田栄治郎「中世真土宿と近世上夙村」
 - ・嵩本和臣「史料紹介／白石畑村医王寺文書」
- 『Regional・リージョナル』7、2007/07
- ・井岡康時「非人番への給米に関する一史料をめぐって」
 - ・奥本武裕「青年期の田部密と中尾靖軒 田部密探索（2）」
 - ・吉田栄治郎「大和国の散所に関する新出史料の周辺」
 - ・中村泰彦「「水国争闘事件」の再検討ノート 暴行・脅迫の意思の有無に関して」
- 『Regional・リージョナル』8、2007/10
- ・井岡康時「明治初年の野非人と地域の対応」
 - ・奥本武裕「大阪府知事渡辺昇と田部密・中尾靖軒—田部密探索3」
 - ・吉田栄治郎「加守の陰陽師」
 - ・嵩本和臣「中世の法隆寺と二人の慶祐—史料紹介 白石畑村医王寺文書2」

- 『Regional・リージョナル』9、2008/01
- ・井岡康時「春日山異聞 乞食へのまなごしをめぐって」
 - ・奥本武裕「もうひとつの森田節斎碑 中尾靖軒による建碑をめぐって」
 - ・吉田栄治郎「夙村の慨歎と深憂」
 - ・嵩本和臣「中世の白石畑と法隆寺『昭和資材帳 法隆寺の至宝』第八巻を読む」
- 『リベラシオン 人権研究ふくおか』126、福岡県人権研究所、2007/06
- ・金山登郎「聞き書き・戸切の運動とくらし 脇坂並木さんに聞く1 運動編」
 - ・古文書学習会「近世民衆史の泉（51）」
 - ・石瀧豊美「被差別部落の少女・お栄 1905年6月、堅粕村松園の踏切事故」
 - ・廣畑研二「研究ノート／高橋貞樹著『特殊部落一千年史』の書誌周辺 対検閲闘争の経緯ともう一つの書誌松島版の謎」
- 『リベラシオン 人権研究ふくおか』127、2007/09
- ・白石正明「「黒田長政公三百年祭」と松本治一郎」
 - ・金山登郎「聞き書き・戸切の運動とくらし—脇坂並木さんに聞く2 くらし編」
- 『リベラシオン 人権研究ふくおか』128、2007/12
- ・小正路淑泰「堺利彦農民労働学校 5 第4期・第5期と学校の再編」
 - ・服部英雄「太鼓製作と中世宮崎宮散所」
- 『リベラシオン 人権研究ふくおか』129、2008/03
- ・上杉聡・石瀧豊美・西原茂徳「シンポジウム／今、筑前竹槍一揆に学ぶ」
 - ・古文書学習会「近世民衆史の泉（52）」中村平左衛門日記より文久元（1862）年5月」
- 『リアンス』185、反差別国際連帯解放研究所しが、2007/11
- ・岸衛「聞き取り調査の「風景」被差別部落でのライフストーリー調査の歩み」
- 『和歌山研究所通信』27、和歌山人権研究

85 資料 部落史関係文献目録

- 所、2007/09
- ・安竹貴彦「法制史的観点からみた半番頭家文書の重要性」
 - ・山陰加春夫「『和歌山の部落史』高野山文書編の編纂にあたって」
- 『和歌山人権研究所紀要』2、和歌山人権研究所、2007/03
- ・吉田栄治郎「史料紹介／紀伊国伊都郡岸上村惣右衛門家文書」
 - ・藤井寿一「和歌山の部落史研究文献目録1（1980年12月まで）」
- (作成協力：廣岡浄進 [大阪大学大学院文学研究科博士後期課程]・藤原豊 [神戸国際中学校・高等学校教諭])